

かざぐるま



～子供たちに おくる風～

市川市教育委員会 学校教育部 教育センター 令和8年3月



市川市には、生涯学習センターの中に、教育支援センター「サポートルームふれんど市川」があります。心理的要因等により学校に行きづらさを感じている市内在住の小学校4年生から中学校3年生までの児童生徒が通室しています。

今回はサポートルームふれんど市川（以下：ふれんど）担当の方にお話を伺いました。



▲サポートルームふれんど市川 室内の様子



▲廊下掲示の様子



ふれんどは、どのような場所ですか？

ふれんどは、学校以外の安心できる学びの場の1つです。集団生活への適応や情緒の安定など、小集団での活動を通して、児童生徒の社会的自立に向け、一人ひとりの状況に応じた支援をしています。



ふれんどでは、どのような活動をしていますか？

自主学習や体育的活動、全体学習、フリータイムなどを組み込んだ、おおよその時間割をもとに活動しています。どの活動も少人数集団で、大人の見守りの下で活動します。

ふれんどに通う児童生徒は、みんな毎日通っているのですか？

毎日通う児童生徒もいますが、曜日を決めて通う場合もあります。また、時間についても、午前のみ、午後からなど、通い方については、家庭と相談しています。

ふれんどで、大切にしていることはどんなことですか？

ふれんどに通う児童生徒は、学校内に入ることを難しく感じている場合があります。ふれんどで過ごしていて、笑顔が増える、自分から話しかける、未知の活動や体験に挑戦するなどの変化が見られるようになると、次のステップに進めることが多いと感じています。家庭や学校と連絡を取りながら、児童生徒の状況に合わせて、本人が何をしたいか、どうしたいかを自分で決めることを大切にしています。



児童生徒が安心して過ごせる居場所はそれぞれですが、その子自身を受け止め、成長を願いながら、支援し続けること、つながり続けることが大切だと改めて感じました。

今後とも、全ての児童生徒への温かい支援をお願いいたします。